



長門の話題 Topics

長門地区・油谷地区でふるさとまつり

グルメとステージを満喫

今年で31回目となる「いきいきのびのびながとふるさとまつり」が10月25日(日)、長門市役所周辺を会場に開催されました。仙崎小鼓笛隊や市内中学生・高校生による吹奏楽、ダンス、和太鼓などのステージ、36チームが参加した恒例の綱引き大会などが会場を大いに盛り上げました。



▲さまざまな団体が工夫した衣装で参加した長門市民総踊り



▲ふれあいふるさとまつり in ゆやでの餅まきのようす

会場にはやきとりをはじめとする長門名物の料理や食のワークショップで考案されたメニューが並び、グルメを満喫する人でにぎわいました。祭りを締めくくる「REBORN! ながと市民総踊り」では、市内からの14団体が「最優秀ながと市民総踊り大賞」を目指して、団体ごとに工夫した衣装をまとい踊りを披露しました。

11月1日(日)にはラポールゆや駐車場で「2015ふれあいふるさとまつり in ゆや」が開催されました。

やきとりや鯛寿司など飲食物をはじめ、地元の企業・団体による海産物や野菜、草花などのバザーが行われたほか、陶芸やミニSL乗車といった体験コーナー、大浦地区で養殖された約100kgのマゲロの解体実演販売が人気を集め、ファイナールの餅まきまで多くの人が祭りを楽しみました。

第47回俵山地区文化産業祭

俵山中最後の子ども歌舞伎

来年3月の俵山中学校の閉校に伴い、平成17年に始まり今回で最後となる俵山中学校の子ども歌舞伎が11月8日(日)、俵山小・中学校体育館周辺を会場に行われた「第47回俵山地区民文化産業祭」で披露されました。

俵山中学校2・3年生の子ども歌舞伎「五人三番叟」は、



▲俵山中学校閉校事業として68期にわたる卒業生の写真も展示



▲毎年文化産業祭で披露されていた俵山中子ども歌舞伎

閉校事業の一環として午前と午後の2回行われ、上演後の会場は大きな拍手に包まれました。

平成18年の国民文化祭、今年8月の全国中学校総合文化祭東京大会などさまざまな場所でも披露してきましたが、今回で俵山中学校としての上演の幕を閉じました。

防災行政無線施設(同報系)運用開始

市民を災害から守るために

災害時に避難情報などを迅速に住民に伝えることなどを目的とした防災行政無線施設(同報系)の運用が11月1日(日)から始まりました。

運用開始前に、大西市長が防災行政無線を通じて市民に対してこの設備についての説明を行いました。そして、正

午になると、これまでのサイレンに代わり、市内65カ所の子局からメロディチャイムによる時報が鳴り響きました。

今後は、災害発生時の避難情報、国民保護情報などの緊急放送、時報、行政情報のお知らせを行う行政放送が行われます。

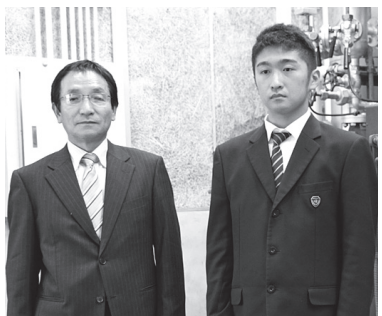


▲防災の日や選挙の日には、サイレンの吹聴が行われる

一級ボイラー技士試験に合格

県内高校生で8人目の快挙

9月27日(日)に山口県セミナーパークで実施された一級ボイラー技士試験に、大津緑洋高校3年の長瀬由希さん(日置中村)が合格しました。県内の高校生では8人目となる快挙で、8月中旬から試験日まで、延べ2,800問を解いて試験に臨みました。



▲長瀬さん(右)と指導した藤本先生

新庁舎建設市民ワークショップ開催

新しい市庁舎への意見を

平成31年度の供用開始を目指す市が進めている庁舎の建て替えについて、「長門市庁舎建設基本計画」の策定に市民の意見を取り入れようと、11月7日(土)、市役所で新庁舎建設市民ワークショップ「新しい庁舎をみんなで考えよう」が開かれました。

市内から参加した約20人の参加者は、老朽化の進んだ庁舎見学を行った後、テーブルワーキングを行い、現庁舎の問題点や新庁舎へのアイデアを出し合い共有しました。

翌8日(日)には、市内の中学生を対象とした同様のワークショップが開かれました。



▲テーブルワーキングで意見を出し合う参加者

通地区まちづくり協議会発足

集落機能再生を目指して

少子高齢化などにより、弱体化しつつある集落機能を再生するため、10月21日(水)、通地区にまちづくり協議会が誕生しました。

協議会会長に選ばれた新谷勇さんは、「皆さんの協力を得ながら、まちづくりを進めていきたい」と話しました。



▲市内では6つめのまちづくり協議会

往年のプレーに歓声沸く

10月17日(土)から20日(月)にかけて山口県で開催されたねりんピック(全国健康福祉祭)。長門市では18日(日)と19日(月)に俵山スパスタジアムでラグビーフットボール競技の交流大会が開催されました。

選手たちは元気にボールを追いかけて、グラウンドを縦横無尽に駆け回りました。選手

がタックルをかわしトライすると、応援席の観客から歓声が沸きました。

今回の交流大会には、全国から25チーム、約500人が参加し、元日本代表からなる「桜とシダの会」もエキシビションとして加わり、大会に花を添えました。

大会を写真で振り返ります。



▲長門市からも6人が参加した山口県チーム(写真はAチーム)



▲桜とシダの会と長門ノーサイドクラブ(黒のジャージ)

試合結果

岩手県	13 - 5	山口県 A
大阪府	28 - 14	群馬県
宮崎県	22 - 0	名古屋市
福岡市	50 - 7	富山県
滋賀県	31 - 7	北九州市
千葉県	26 - 7	広島市
神戸市	14 - 12	石川県
静岡県	22 - 14	長崎県
京都府	22 - 5	秋田県
埼玉県	12 - 10	兵庫県
鹿児島県	22 - 12	愛知県
徳島県	31 - 0	岐阜県
岐阜県	7 - 5	鹿児島県
兵庫県	19 - 10	秋田県
石川県	7 - 5	徳島県
愛知県	36 - 7	神戸市
京都府	17 - 5	静岡県
長崎県	41 - 5	埼玉県
福岡市	26 - 5	千葉県
名古屋市	19 - 0	広島市
北九州市	33 - 31	群馬県
滋賀県	21 - 0	宮崎県
岩手県	22 - 0	大阪府
富山県	7 - 0	山口県 B

エキシビションマッチ

桜とシダの会	22 - 5	山口県
桜とシダの会	17 - 10	長門ノーサイド



① 10月17日にルネッサながとで行われた開始式で、歓迎の気持ちを表した
 ② 選手宣誓は山口県チームの南部誓さん(仙崎鳥越2区)
 ③ 桜とシダの会と長門ノーサイドクラブのエキシビションマッチ
 ④ 俵山スパスタジアム近くの交差点には、スーパーかかしと歓迎メッセージでお出迎え
 ⑤ 攻め込む山口県チーム
 ⑥ 18日にはおもてなしコーナーで鯨鍋が、19日には鶏鍋が振る舞われた
 ⑦ 鯨鍋のなつかしい味を楽しむ選手の皆さん

長門のPeople

笑顔絶やさず、最高のおもてなしを。

松岡綾さん

(湯本観光ホテル西京／東深川藤中区)



熱血！新鮮力

※仕事は

フロント業務として、宿泊客のチェックインやチェックアウト、館内施設の案内などを担当しています。

※就職のきっかけは

高校時代に経験したアルバイトを通して、接客業に興味を抱いたからです。お客様から感謝の言葉をかけられたときにやりがいを感じますね。

※休日の過ごし方は

友人とのドライブや、映画鑑賞などを楽しんでいます。

※長門市の好きな場所は

晴れた日に、青海島の観光汽船から見る絶景の海です。

※今後の目標は

市内の観光地や飲食店などを尋ねられることも多いため、さまざまな知識を身につけて早く一人前になることです。

※最後に一言

ボウリングや芝居小屋などのアミューズメント施設がそろったホテル西京。お子様からご年配の皆様まで、フロントで来館をお待ちしています。



滝坂神楽舞奉納

未明まで続く伝統の舞

11月2日(月)、今年も三隅黄幡社の例祭で「滝坂神楽舞」が奉納されました。

舞は約2m四方のむしろの上で行われ、訪れた地域住民ら約80人を前に今年も足均を皮切りに、2時から翌3日の1時まで20の演目を披露しました。



▲地区の保存会が舞を伝える

旧文洋小学校でタイムカプセルを開く会

懐かしい思い出がよみがえる

今から15年前に、文洋小学校開校50周年記念事業として埋めたタイムカプセルを開封する会が11月8日(日)、旧文洋小学校で行われ、当時の在校生や先生、保護者など約30人が参加しました。カプセルが開くと、「懐かしい」という声があちこちから聞かれました。



▲タイムカプセルから思い出を取り出す